



1.ビニール系の床(クッションフロアなど)

日常のお手入れ

- 掃除機でゴミを取り、固く絞った雑巾で拭き掃除をしましょう。
- 汚れが表面から内部の発泡層にしみ込むと取れにくくなるので、汚れたらすぐに拭き取りましょう。
- 定期的にクッションフロア用ワックスで磨くと長持ちします。



補修方法

汚れ	<p>中性洗剤をお湯で薄め、ムラなく塗ります。10～20分して汚れが浮いたら、ブラシなどでこすり落とします。よく絞った雑巾で、洗剤分を残さないよう拭き取ってください。床が乾いたら、水性ワックスを2～3度塗ります。</p> <p>※濡らすと水が浸入しやすく、剥がれることもあるので、継ぎ目や端部には気を付けましょう。</p>
隅部の剥がれ	<p>劣化した接着剤をヘラなどで剥がし、クッションフロア用接着剤を塗ります。半日ほど重石をして定着させます。剥がれを放っておくと範囲が広がっていくので、そり癖が付く前に補修しましょう。</p>
劣化による割れ	<p>経年劣化により表面が固くなると、割れやすくなります。人の動線上で割れが生じた場合は張り替えましょう。大掛かりな作業となる場合は、当社にご相談ください。</p>



注意

- 熱に弱いので、熱いものを直接置かないようにし、タバコの火にも注意してください。
- 重いものやゴム製品(家具のゴム製脚キャップなど)を長期間床の上に置くと、へこみや跡が付く、元に戻らなくなるので注意しましょう。
- 表面が柔らかいので重いものや尖ったものを落とさないように気をつけましょう。

2.玄関床(鉄平石・つや消しタイル・磁器質タイル)

日常のお手入れ

- 屋外からの砂や泥が主な汚れです。ほうきなどで掃きましょう。玄関マットを置いたり、庭先やポーチの砂や泥を掃除したりするのも有効です。
- 湿らせた新聞紙をちぎって床にまき、ほうきで掃くと細かいホコリや砂まできれいになります。
- 1週間に1回は、ポーチの水洗いをしましょう。タイルの目地は古歯ブラシでこすり、汚れのひどい部分は住居用洗剤を付けてこすり、最後に水で洗い流しましょう。

※寒冷地では、冬の水洗いは凍結のおそれがあるので避けましょう。

※人造大理石・天然石(光沢のある床材)は水で濡らすと光沢が失われるため乾拭きします。



ワックスがけ

- 住まいの顔である玄関を美しく保つ為、月に1回油性ワックスをかけましょう。土ホコリを掃き出し、ゴミなどを取り除いた後、油性ワックスをかけます。布でよく擦り込み、表面の油のツヤが消えたら布を取り替えて乾拭きで仕上げます。

3. カーペット

日常のお手入れ

- こまめに掃除機をかけましょう。毛足を傷めないよう、カーペットの毛並みに沿ってかけましょう。
- 掃除機で取りにくい毛髪や綿ボコリは、粘着ローラーを使って取りましょう。
- こまめに掃除をすることで、ダニの繁殖軽減にも役立ちます。また天気の良い日には風通しを良くしましょう。余分な湿気が放出され、カビの発生を防ぎます。
- カーペットに付いた汚れは、なるべく早く除去することが大切です。時間が経つにつれ落ちにくくなるので、しみ付く前のお手入れを心がけましょう。



簡易クリーニング

- 月に 1 回、カーペット用洗剤や住居用洗剤を使って全体のクリーニングをしましょう。カーペットを十分に乾かせるよう、天気の良い日に風通しを良くして行います。
 - ① めるま湯で薄めた住居用洗剤を固く絞った雑巾で、カーペットの毛並みに沿って、汚れをこすり出すように拭きます。
 - ② 反対方向に向かって拭きます。最後に乾拭きをし、よく乾かします。
- 床から外せるカーペットの場合は、年に 1 回、裏返して半日くらい日光に当てて干し、裏側から軽くたたき、奥に入り込んだホコリを出してください。
- 2 年に 1 回は、専門のクリーニング業者に依頼するようにしましょう。



<エコクリーニング>

カーペットに重曹を振りかけ、しばらく置いてから掃除機で吸い取るとニオイが取れます。

補修方法

水溶性のシミ (醤油、コーヒーなど)	すぐにティッシュなどで吸い取り、塩をかけます。塩が湿ってきたら、歯ブラシで塩を浮かしながらせるようにこすり、掃除機で吸い取ります。中性洗剤を溶かしたぬるま湯で絞った布で拭きます。
油性のシミ (クレヨン、インクなど)	ティッシュなどで拭き取り、ベンジンを浸した布をシミに押し当て汚れを溶かします。汚れを乾いた布で拭き取った後、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸し、絞った布でたくように拭きます。
ペットの尿	塩やクレンザーをたっぷりかけ、水分を吸わせてから掃除機で吸い取ります。中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水分を拭き取ります。ニオイが気になる場合は、消臭作用のある重曹をカーペットにふりかけ、掃除機で吸い取ります。酢で拭くのも効果的です。
ガム・ごはん粒	ビニールに入れた氷やドライアイスで冷やし、固まったらたたいて砕かへらなどではがします。
卵のシミ	冷水を浸した雑巾で拭きとった後、大根おろしのしぼり汁で拭き取ります。
血液	冷たい塩水を浸した雑巾で拭きます。(タンパク質は熱で固まってしまうので、お湯は使わないようにしましょう) しっかりシミを落とした後、ぬるま湯で浸した雑巾で拭き上げます。
泥汚れ	ティッシュや布で汚れを吸い取り乾かします。ブラシでこすり、土をほぐして掃除機で吸い取ります。住居用洗剤で拭いてから水拭きし、水分を拭き取って仕上げます。
へこみ	へこんだ部分にスチームアイロンの蒸気を当てるか、濡れタオルを当てて蒸します。毛並みに逆らってブラッシングをし、つぶれた毛を立てて乾かします。
焼けコゲ	表面だけの軽い焼けコゲは、歯ブラシなどでこすると目立たなくなります。焦げて色が変わった繊維をカッターやハサミの先で取り除き、カーペットの目立たない部分からこそげ落とした毛を、木工用ボンドで埋め込めば大きなコゲ後も直せます。